

久留米大学を受診した患者さんへ

「大学附属病院 NICU および GCU における末梢挿入型中心静脈カテーテル関連血流感染の発生状況とリスク因子の検討：コホート研究」の研究に使用する情報について

この研究では、久留米大学に入院した際に保存されている以下の情報を使用します。

- 1) 期間：2008年1月1日から2015年10月31日まで
- 2) 受診科：総合周産期母子医療センター新生児部門
- 3) 対象疾患名：末梢挿入型中心静脈カテーテルで点滴治療を行った者
- 4) 使用する情報：診療情報

あなたの情報を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：久留米大学病院¹⁾、国際医療福祉大学大学院²⁾
研究代表者：看護師長 川野佐由里^{1) 2)}
研究分担者：准教授 岩田欧介¹⁾
看護師長 吉井千穂¹⁾
准教授 崎浜智子²⁾

2) 研究の意義と目的：

輸液療法に使用する末梢挿入型中心静脈カテーテル管理に関する感染リスクを明らかにすることで感染予防に繋がります。

3) 研究の方法：

診療情報を用いて感染リスクと考えられる情報を収集し、統計学的分析を行います。

4) 研究期間：平成27年12月倫理委員会承認後～平成30年3月31日

5) 上記の情報の使用を選定した理由：

成人において末梢挿入型中心静脈カテーテルは従来の中心静脈カテーテルに比較し、感染率が低いことが報告されています。しかし、新生児における感染に関するデータは少なく、NICU 領域においては末梢挿入型中心静脈カテーテルによる輸液療法が主流となっているため、本研究において感染リスクを明らかにし、感染予防に繋がっていくことは大変意義があると考えます。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：

本研究に用いる診療情報は匿名化し個人が特定されないように配慮いたします。

7) 研究成果の発表の方法：

国内外の学術集会において発表、及び学術誌へ論文投稿予定です

8) 利益相反：本研究は特定企業からの資金援助はありません

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

（代表者氏名）久留米大学病院 看護師長 川野佐由里

（住所）久留米市旭町 67 番地

（電話）0942-35-3311